

夏秋ナス管理情報 No.4

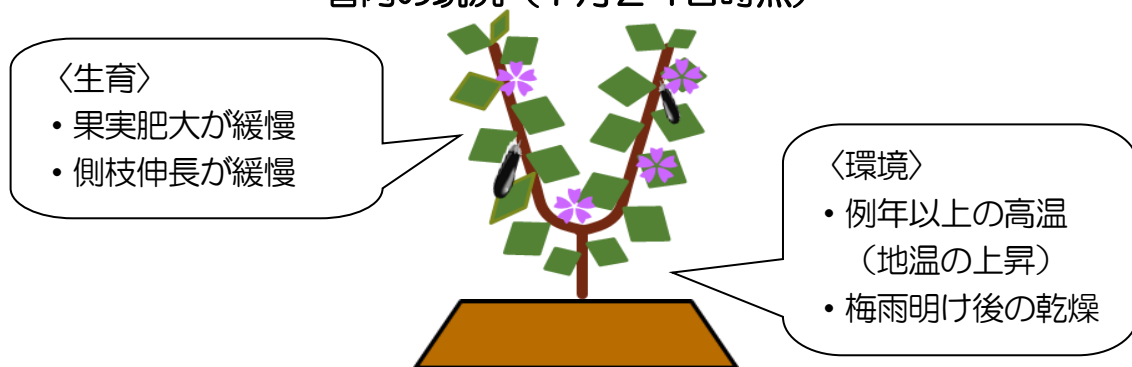
令和8年7月

京築普及指導センター・JA福岡京築

～8・9月の管理のポイント～

- ① 葉残しせん定で葉数を確保（収穫ピーク後の成り疲れ対策）
- ② 収穫量に応じた追肥（肥料不足による草勢低下防止）
- ③ 根っこりんの葉面散布（根傷み対策）

～管内の現況（7月24日時点）～



＜ 生 育 ＞

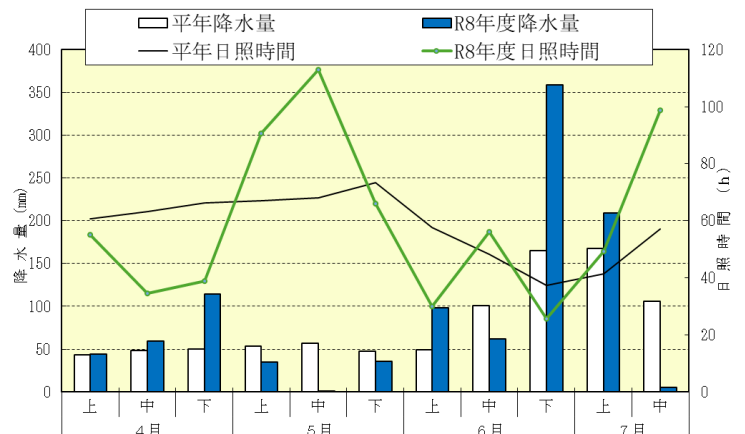
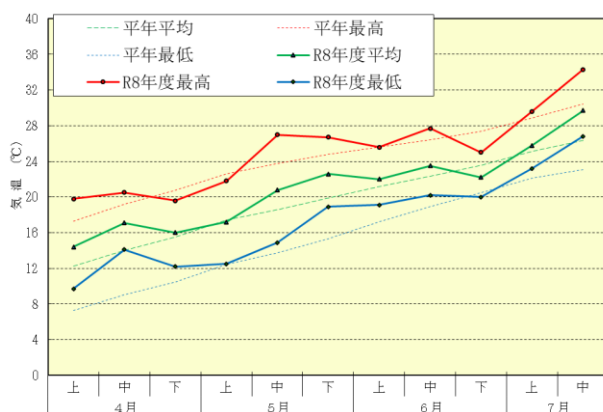
管内平均：草丈 120 cm前後 開花段：6 段目 収穫段数：4、5 段目

- ・花数の増加が見られず
- ・葉にカリウム欠乏・マグネシウム欠乏の兆候あり
- ・青ガクが増加中

＜病 害 虫＞

- ・梅雨期の降雨後、褐紋病・褐色腐敗病が散見。
- ・梅雨明け後の乾燥により、スリップスやテントウムシダマシ類の被害が散見。
- ・ハダニ類・チャノホコリダニの発生が見られ始めた。

気象概況（行橋アメダス）



1. 整枝

(1) 主枝の摘心

摘心目安：草丈 170cm 程度

※170cm 未満で摘心すると節数不足で減収するため注意！

M 規格メインで収穫するなどして、主枝の伸長を促しましょう

(2) 側枝の整枝

- ・側枝は1枝1果どりを徹底しましょう（図1）。

※1枝2果成りした場合のリスク

- ①変形果の発生 ②果実肥大の緩慢化 …〈栄養が分散されるため〉
- ③果実の品質低下（青ガク果など）④病害虫の発生 …〈枝葉が混み、日当たりと風通しが悪くなるため〉

(3) 葉数の確保

- ・筑陽は草勢が落ちやすいため、葉数確保を意識して整枝を行いましょう。

⇒ 葉残しせん定により、収穫ピーク中から葉数を確保（図1）。

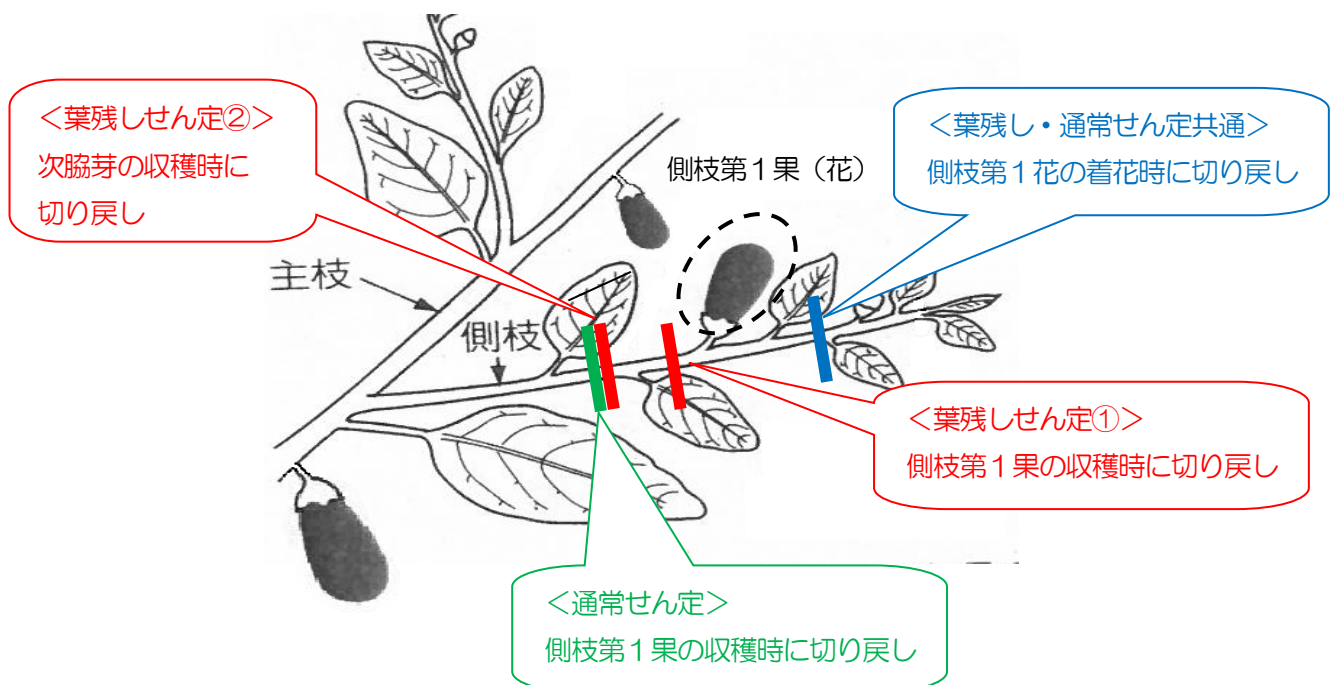


図1 側枝のせん定方法

※過繁茂にならないよう注意（図2、3）。草勢回復後は通常せん定に戻しましょう。

葉数を確保しつつ、
株の中心には光が入る



図2 適正な草姿

株の中心で枝葉が
混みあっている



図3 過繁茂な草姿

- ・収穫が遅れると、草勢低下や尻太果などの不良果が発生します。
M～Lサイズでの収穫を徹底しましょう。
- ・伸びしろ（右図：白い部分）のない実は、それ以上大きくならないため、見つけ次第収穫しましょう。



2. 肥培・かん水管理

（1）肥培管理

- ・8月以降は収穫量が増加するため、肥料の要求量も高まります。
草勢の低下を防ぐため、追肥間隔を狭めましょう。
例：NK 化成2号 20kg/10a 7日おき
- ・基肥に夏秋なす一発 2100を施用している場合も、8月以降は肥料が不足するため、追肥を施用しましょう。
例：NK 化成2号 20kg/10a 10～14 日おき（間隔は草勢に合わせて調整）
- ・かん水チューブを設置しているほ場では、液肥での追肥も可能です。
例：

OK-F-1	7kg/10a	} 窒素1kg/10a 程度
OK-カリマックス	10kg/10a	
液肥3号	9kg/10a	

を週1～2回（草勢に合わせて調整）、かん水時に施用。

(2) かん水管理

- 土壌の乾燥はツヤなし果の発生を助長します。また、極端な乾湿差は根傷みを起こします。畝が乾燥しない頻度で畝間かん水を行いましょう。
- ※ 丸一日以上の湛水は、根傷みにつながるのでやめましょう。夜間に湛水、朝に排水！
- ※ 気温の上がる日中の畝間かん水は控えましょう。根傷みや褐紋病の発生を助長します！

3. 根傷み

- 8月は着果負担および地温上昇により、根傷みが起きやすく、草勢が低下しやすいです。
根っこりん（発根促進剤）を葉面散布し、根の回復および草勢維持に努めましょう。
- ＜根っこりん使用方法＞
- 週1回**、250倍希釈で葉面散布（しっかり葉の両面に！）
- ☆盆付近の収穫ピーク時期からの散布により、成り疲れ対策にも！

4. 生理障害

- 8月はマグネシウム欠乏症も発生しやすくなります（図4）。
放置すると落葉し、草勢低下につながります。
- ＜症状＞
- 葉脈間の黄化。
- 古葉で発生しやすいが、果実近くの葉で発生することもある。
- ＜対策例＞

- マグマンボ 1,000倍希釈 7～14日おきに3回程度葉面散布
- 追肥とともに硫酸マグネシウムを施用



図4 Mg 欠乏症

5. 病虫害防除

① 褐紋病・褐色腐敗病

- 8～9月は高温のため、ほ場の排水性が悪かったり、降雨があったりすると発生しやすいです。明きよの再整備をするとともに、定期的な防除を徹底しましょう。

② うどんこ病

- 9月以降、気温が低下すると（目安：25℃前後）、発生しやすくなります。気温を見ながら、褐紋病・褐色腐敗病中心の防除からうどんこ病中心の防除へと切り替えましょう。

③ 害虫

- 晴天が続いた場合、チャノホコリダニ、ハダニ類、アザミウマ類が多発する恐れがあります。早期発見と防除に努めましょう。

薬剤散布事例

※農薬登録情報は2026年7月21日登録反映時点の情報で確認。

農薬使用時は必ずラベルの情報を確認し、記載情報に従って使用しましょう。

散布時期	薬剤名	対象病害虫	希釈倍率等	使用回数	RACコード	使用時期	使用方法
8月	第1週	カネマイトフロアブル	ハダニ類（1,000～1,500倍）、 チャノホコリダニ	1,000倍	1回	I:20B	前日 散布
		ランマンフロアブル	褐色腐敗病	2,000倍	4回以内	F:21	
	第2週	カスケード乳剤	ミナミキイロアザミウマ、オオタバコガ、 ハダニ類（2,000倍）、カメムシ類	2,000～ 4,000倍	4回以内	I:15	
		ベルコートフロアブル	灰色かび病、すすかび病、 うどんこ病、褐紋病	2,000倍	3回以内	F:M7	
	第3週	トルネードエースDF	ハスモンヨトウ、オオタバコガ、 テントウムシダマシ類	2,000倍	2回以内	I:22A	
		ダコニール1000	灰色かび病、すすかび病、うどんこ病	1,000倍	4回以内	F:M5	
	第4週	ヨーバルフロアブル	ハスモンヨトウ、オオタバコガ、 アブラムシ類、アザミウマ類（2,500倍）	2,500～ 5,000倍	3回以内	I:28	
		レーバスフロアブル	褐色腐敗病	2,000倍	3回以内	F:40	
9月	第1週	ダニサラバフロアブル	ハダニ類	1,000倍	2回以内	I:25A	
		シグナムWDG	灰色かび病、菌核病、褐紋病、 すすかび病（1,500～2,000倍）、うどんこ病	1,500倍	3回以内	F:11 F:7	
	第2週	ブレオフロアブル	ハスモンヨトウ、オオタバコガ、 アザミウマ類	1,000倍	4回以内	I:UN*	
		ミギワ10フロアブル	灰色かび病、菌核病、うどんこ病、褐紋病	1,000倍	3回以内	F:52	
	第3週	カスケード乳剤	ミナミキイロアザミウマ、オオタバコガ、 ハダニ類（2,000倍）、カメムシ類	2,000～ 4,000倍	4回以内	I:15	
		ピシロックフロアブル	褐色腐敗病	1,000倍	3回以内	F:U17	
	第4週	ヨーバルフロアブル	ハスモンヨトウ、オオタバコガ、 アブラムシ類、アザミウマ類（2,500倍）	2,500～ 5,000倍	3回以内	I:28	
		アミスター20フロアブル	うどんこ病、すすかび病	2,000倍	4回以内	F:11	



褐紋病



褐色腐敗病



うどんこ病



チャノホコリダニ被害
(芯葉の萎縮、茎の褐変等)



ハダニ類被害
(かすり状の斑紋)